

‘04 夏合宿報告書

北アルプス 槍ヶ岳、鷲羽岳

’04 8.09 ~ 8.11

CL竹内, 藤田, 岸上
芦田, 山田



【夏合宿を振り返り】

(計画) 初日の歩行時間が長いが日程が3日間でもあり、夏の北アルプスを十分楽しめるコースである

(行動) 合宿初日は午前中は好天に恵まれたが、午後から曇り、のち雨となった。

1日目はテント場が満員となりテントが張れず小屋に素泊まりすることになった

2日目からは天気は晴れて展望も良く稜線歩きも十分楽しむことができた。

1日目、2日目にひざを痛めて歩行時間が長くなった。その為、2日目の三俣蓮華方面鷲羽岳は断念して双六小屋でテントを張ることにした。3日目はそこから新穂高に下山した。

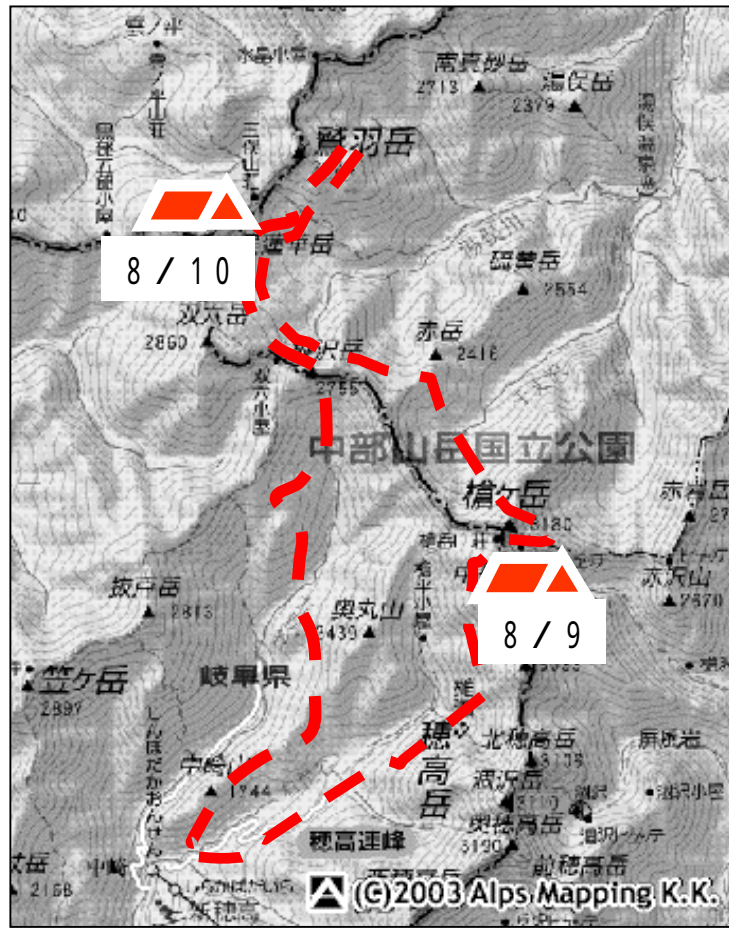
(食糧) レトルト食品を主体にしたメニューでごはんがうまく炊けました。

(装備) 今回4~5人用のテントを2張持っていったが軽量なのでそんなに負担は感じなかった。
燃料は225gのガスを4個持参して2個使用した

最後に、合宿にご協力頂いた留守部員の皆様をはじめ、差入れを頂いた方々にこの場を借りて御礼申し上げます。

(CL.竹内 記)

コース概念図



【行動記録】

【8月9日(月)】 晴のち雨

5:00 新穂高出発
6:25 穂高平避難小屋
8:00 チビ谷
10:20 槍平小屋
16:00 槍ヶ岳山荘

5:00 新穂高出発6:25 穂高平避難小屋到着。標高1330m 休憩、給水を行う。8:00 チビ谷到着。標高1600m 休憩を取る。10:20 槍平小屋到着。標高2000m 休憩、食事、給水を行う。12:00 雨が降り出したのでカッパを装着。16:00 槍ヶ岳山荘到着。大雨。テント用の場所が一杯だったので、山荘の素泊まり部屋に宿泊。19:30 就寝。1日目終了。

所見と感想

今回、初めて重装備で登山したので、登山出来るか心配だったが、無事登山出来て良かった。しかし、槍ヶ岳山頂付近では息切れを起こし、また、荷物の重みで背中が痛くなったので、体力を付ける必要があるとともに、荷物の詰め方も考える必要があると考えられる。また、槍ヶ岳山頂付近では傾斜がきつく、今までに経験の無いものだった。槍ヶ岳山頂では、素泊まり部屋に泊まることになったが、豪雨だったので、逆に良かったと思う。山荘での食事は簡単な物だったが、重労働の後だったので、とてもおいしかったです。あと、自然の清水も美味しかったです。

記 山田

【8月10日(火)】晴

2:20 起床
4:20 槍ヶ岳山荘出発
5:00 山頂
5:30 槍ヶ岳山荘着
5:40 槍ヶ岳山荘出発
6:30-6:40 千丈乗越
7:40-7:50 休み
8:35-8:50 休み
9:50-10:05 縦沢岳手前
11:05 双六山荘着



朝起きると、まず天気が気になる。小屋の窓から外を確認すれば、上々。うろこ雲の月明かりに、槍ヶ岳の岩が映える。準備をし、目の前の槍ヶ岳へ空身でピストン。日の出前から、懐中電灯をつけた人々がゆっくりと岩山を登っているのが見える。登り始めてしばらくで、渋滞。白みゆく山並みがこの世のものとも思えぬ美しさ。頂上は混んでいるようで、頂上直前のはしごで待機している人々は、降りた人と同数分だけ登るようなルールになっている。頂上に着くと、360度の展望が得られるが、日の出の時刻になっても遠くの雲のせいでまだ薄暗く、何より、狭い頂上のスペースが人で満杯で、5分ほどであわただしく写真撮影して下りることにする。来た道と少し違う道を下っていくうちにあたりが明るくなってくる。山荘まで戻ってきたら、荷物を背負い、西鎌尾根に行く。足元には砂利や小さな岩が多く、歩きやすいとはいえない。薄曇のせいで、あまり暑くはない。両側の深い谷と山脈は美しい。千丈乗越までは、緩やかなくだり、その後、順調なペースで3つほど山を越える。途中多くの若いパーティとすれ違う。だが、途中、右ひざを痛め、テーピングで応急処置するも、縦沢岳から双六山荘までの下りで歩行のペースが急激に低下。先に山荘に着いていたメンバーに、今夜はここで泊まろうと提案され、納得。山荘の横でビールを飲みながら、日が暮れるのを待つ。8時ごろ就寝。
(記・芦田)

感想

ひざは普段からスクワットで鍛え、筋肉は粉末のアミノ酸でいい状態にあっただけに、ひざを痛めたのは不覚であった。三俣山荘で友人に会う約束をしていたのに、ルート変更のため達成できず、残念。

【8月11日(水)】快晴

5:15 双六小屋出発

6:10 花見平

7:25 鏡平山荘

10:55 わさび平小屋

12:20 新穂高P

3:00起床する。テントの外は星がいっぱいで、今日の天気が晴れであることを確信する。朝食はうどんである。そして、出発の準備をしているうちに辺りが明るくなってきた。5:15出発となる。1ピッチほどで花見平に到着した。そこから穂高、槍がよく見える。しばらく休憩して景色を楽しんだ。

ここから少し歩いて分岐に到着、鏡平山荘に下りる。高度が少しずつ下がっていくため展望が利かなくなっていく。やがて鏡平山荘に到着、池に映しだされる小屋がきれいである。ここからは樹林の中をゆっくり下っていく。途中で岸上さんが初日に痛めた足の手当てをする。さらに2ピッチほど歩いてわさび平小屋に到着した。新穂高も近いと感じて元気も出てきた。樹林に囲まれた林道を歩いていくとやがて新穂高の駐車場に到着した。このあと車で移動平湯温泉に入り汗を流して、刈谷へと帰った

記竹内

感想

稜線では天気がよく景色もよく見えて楽しい山行であった

感想

夏合宿が槍ヶ岳となり、是非登ってみたいと3年ぶりに参加しました。ただ、事前のトレーニング不足が否めず、初日の槍平からの急登でダウン、パーティーのみんなに荷物を肩代わりしてもらい、ようやくの思いで、槍ヶ岳の山小屋に辿り着く。到着の2時間程度前から雨が降り、テン場もとれなかったため、山小屋泊となった。二日目は、曇りで暑くも無く、絶好のコンディションで双六小屋まで辿り着く、稜線からの景色は大変素晴らしく、山の良さを痛感した。最終日は、双六小屋からのスタートで、天候は晴れ、ゆっくりとしたペースで山を下りる。私自身は、足をくじくアクシデントがあり、日々のトレーニング、救急知識の重要性がわかった。

全体としては、天候にも恵まれ、雄大な山の景色、夜の星空を眺めることが出来、楽しい合宿だった。

記 岸上